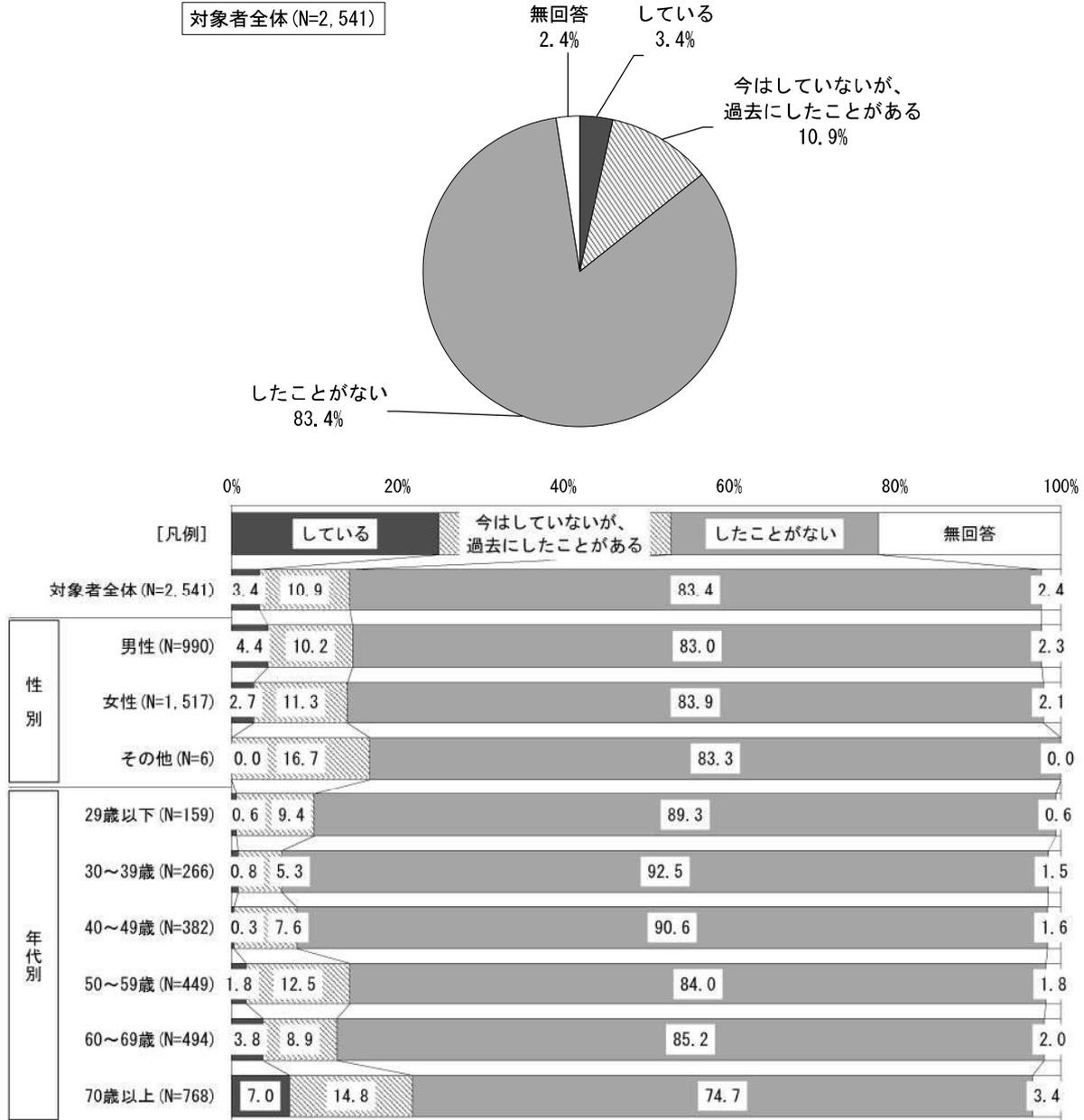


(6)野生鳥獣への餌やり行為について

◇餌やり行為をしたことがあるか否か

問30 あなたは、野生鳥獣への餌やりをしていますか、またはしたことがありますか。

餌やり行為を「したことがない」人は83.4%



【全体】餌やり行為をしたことがあるか否かは、「している」が3.4%、「今はしていないが、過去にしたことがある」が10.9%となっている。一方、「したことがない」が83.4%となっている。

【性別】大きな差は見られない。

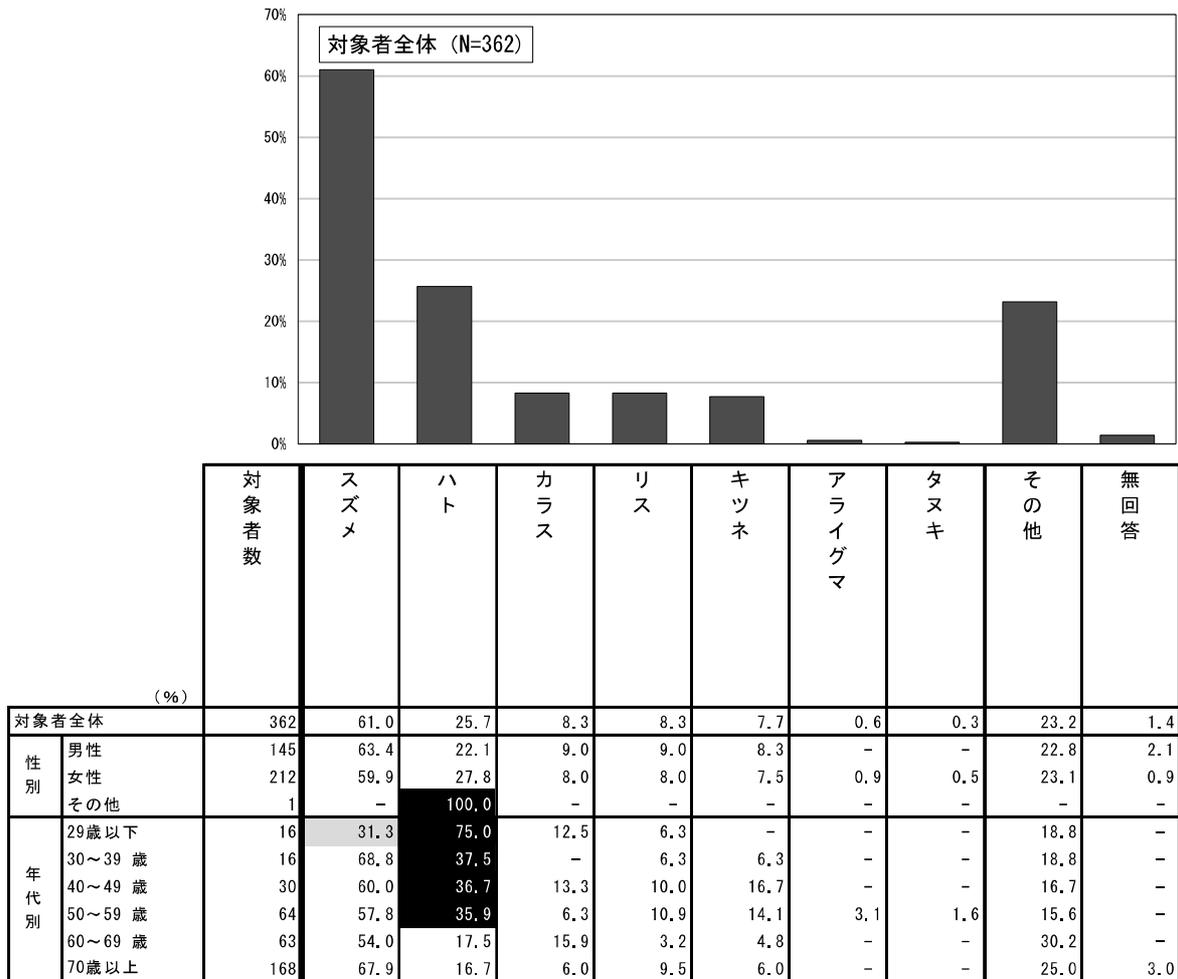
【年代別】「したことがない」が30歳代(92.5%)で最も高く、次いで40歳代(90.6%)、29歳以下(89.3%)となっている。

◇餌やりをしている(したことがある)野生鳥獣の種類

《問30で「1 している」または「2 今はしていないが、過去にしたことがある」と答えた方にお聞きします。》

問30-1 あなたが、餌やりをしている、または過去にしたことがある対象の野生鳥獣の種類は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

餌やりをしている(したことがある)野生鳥獣の種類は「スズメ」と回答した人が61.0%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】餌やりをしている(したことがある)野生鳥獣の種類は、「スズメ」が61.0%、「ハト」が25.7%、「カラス」と「リス」が8.3%となっている。

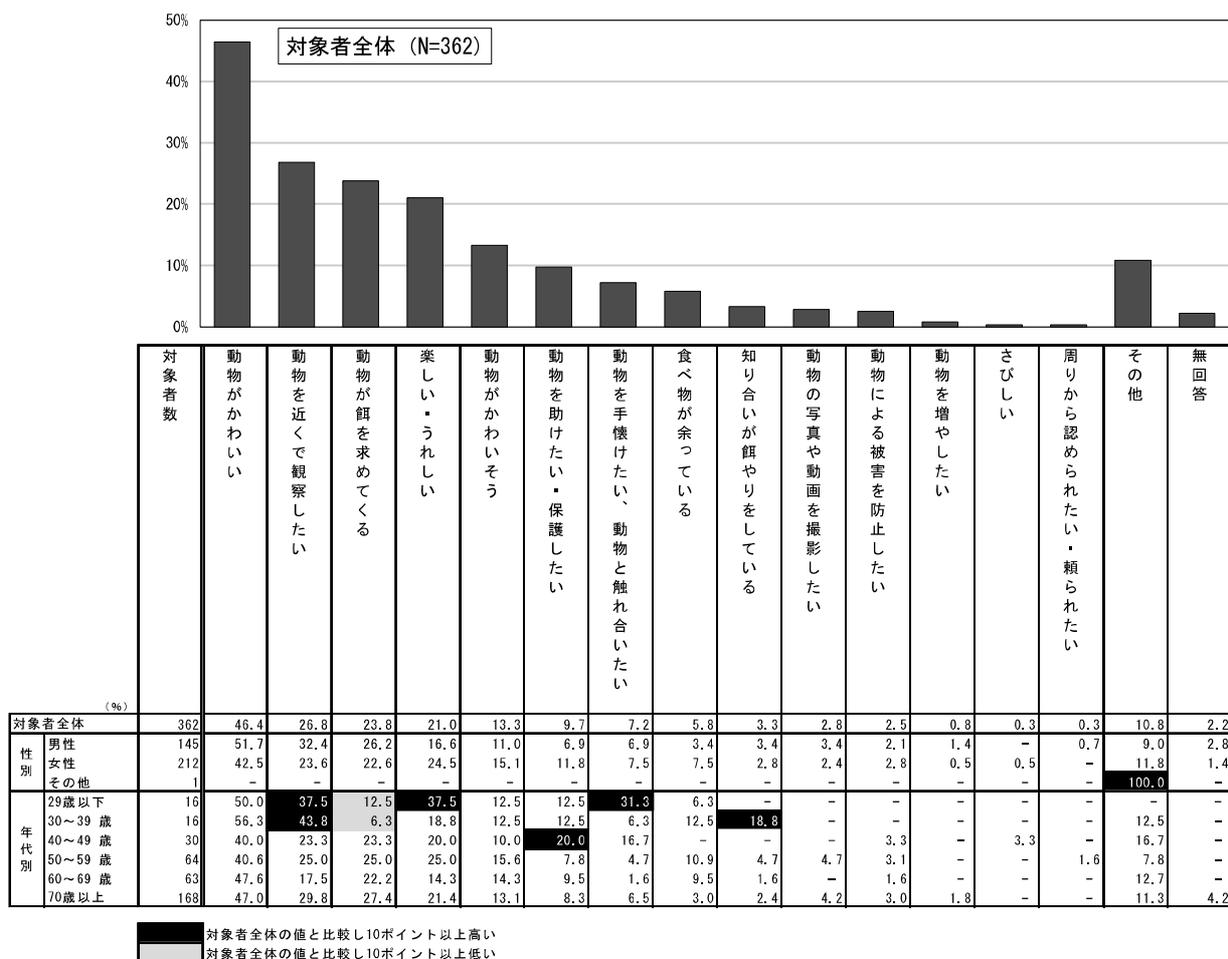
【性別】「ハト」は女性が27.8%と、男性の22.1%より5.7ポイント高くなっている。

### ◇餌やりをしている(したことがある)理由

《問30で「1 している」または「2 今はしていないが、過去にしたことがある」と答えた方にお聞きします。》

**問30-2** あなたが、野生鳥獣に餌やりをしている、または過去にした理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

餌やりをしている(したことがある)理由は「動物がかわいい」と回答した人が46.4%



【全体】餌やりをしている(したことがある)理由は、「動物がかわいい」が46.4%、「動物を近くで観察したい」が26.8%、「動物が餌を求めてくる」が23.8%となっている。

【性別】「動物がかわいい」、「動物を近くで観察したい」は男性が女性より8.8ポイント以上高くなっている。また、「楽しい・うれしい」は女性が24.5%と、男性の16.6%より7.9ポイント高くなっている。

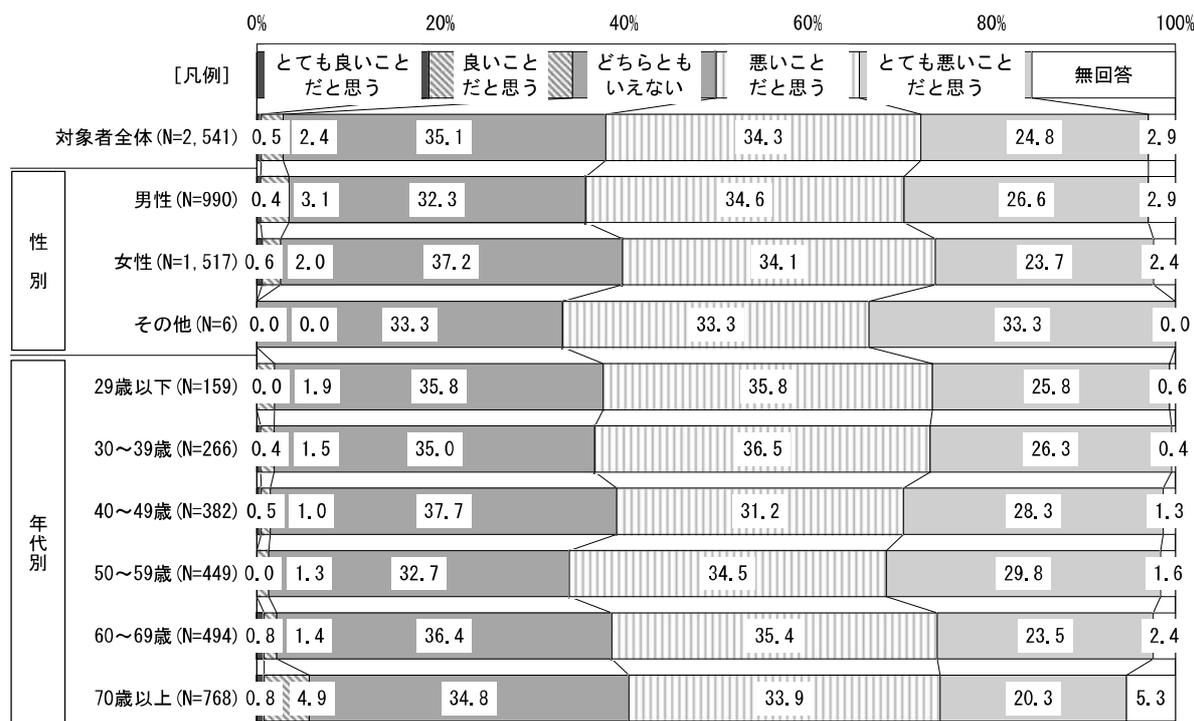
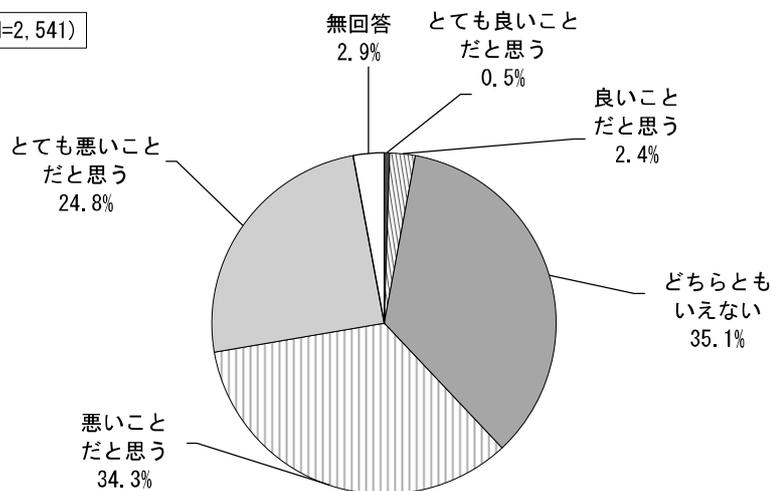
◇餌やり行為をどう思うか

問3 1 あなたは、野生鳥獣への餌やり行為についてどう思いますか。

餌やり行為を「悪いことだと思う」と回答した人が59.1%

※ “悪いことだと思う”（「悪いことだと思う」+「とても悪いことだと思う」）

対象者全体 (N=2,541)



【全体】餌やり行為をどう思うかは、「とても良いことだと思う」が0.5%、「良いことだと思う」が2.4%、合わせると3.0%となっている。一方、「悪いことだと思う」が34.3%、「とても悪いことだと思う」が24.8%、合わせると59.1%となっている。

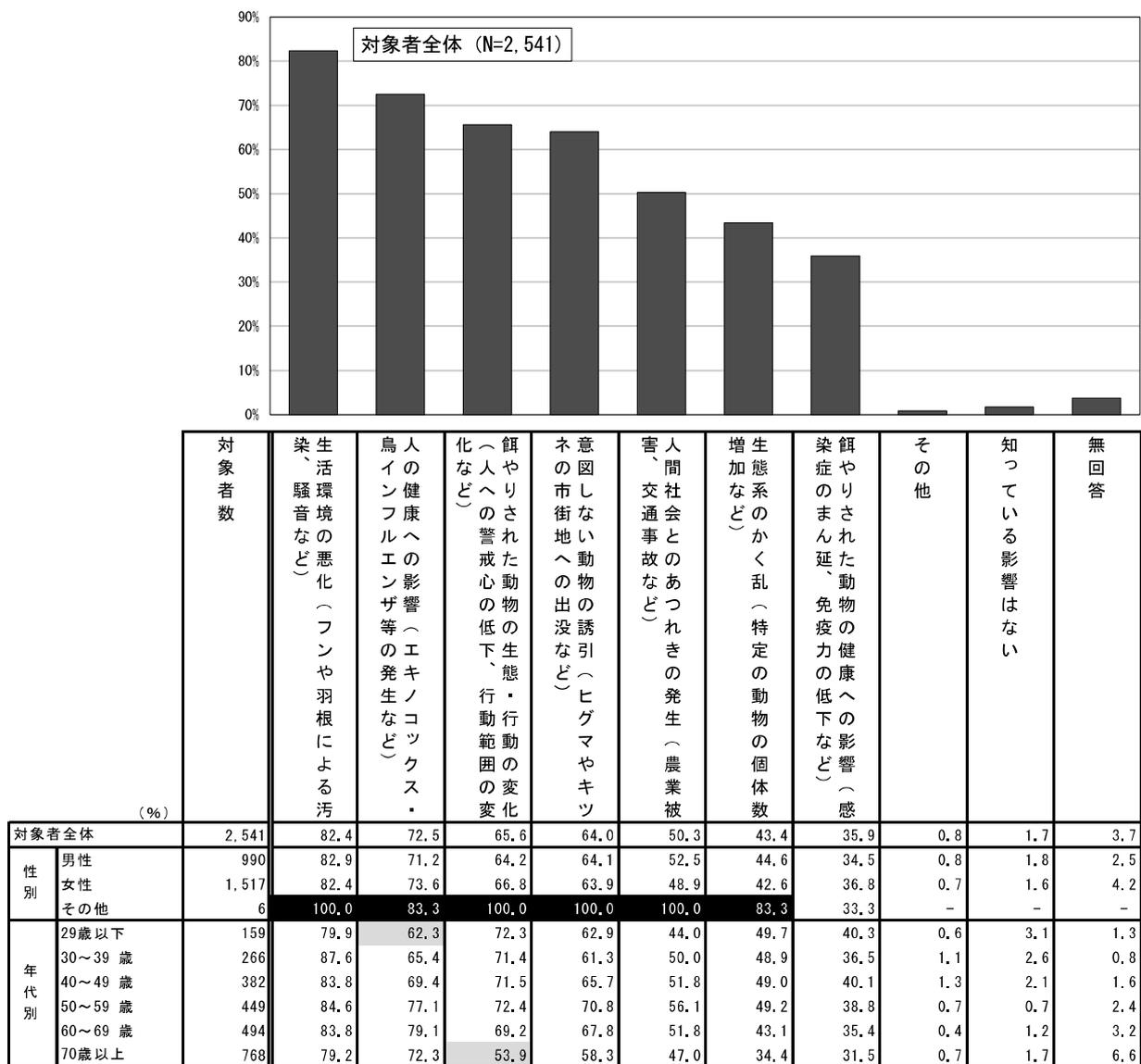
【性別】大きな差は見られない。

【年代別】“悪いことだと思う”が50歳代（64.4%）で最も高く、次いで30歳代（62.8%）、29歳以下（61.6%）となっている。

◇餌やり行為によっておこる影響

問3 2 野生鳥獣への餌やり行為によって、以下のような影響が生じることがあります。あなたが知っているものはありますか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

餌やり行為によっておこる影響は「生活環境の悪化（フンや羽根による汚染、騒音など）」と回答した人が82.4%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 餌やり行為によっておこる影響は、「生活環境の悪化」が82.4%、「人の健康への影響」が72.5%、「餌やりされた動物の生態・行動の変化」が65.6%となっている。

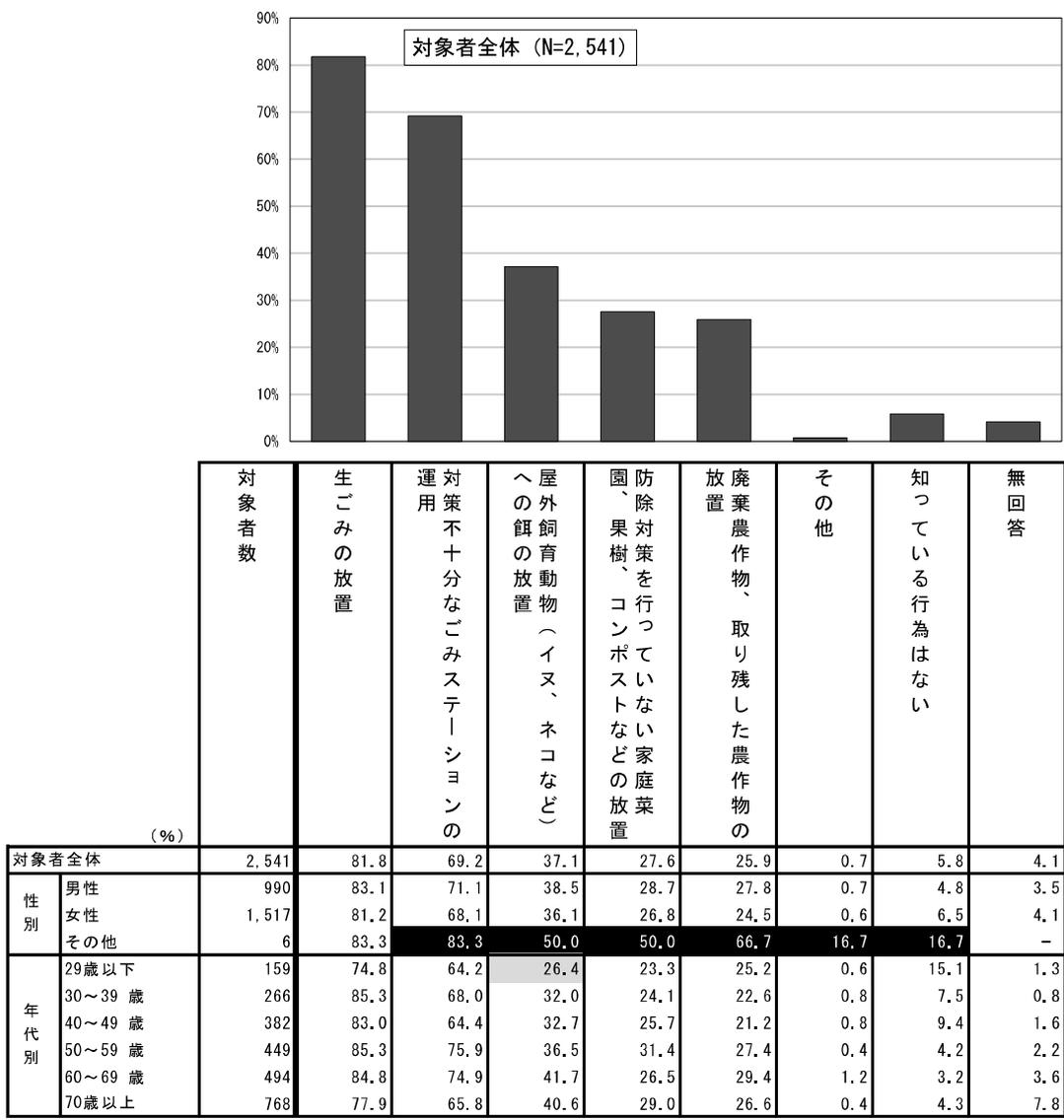
【性別】 大きな差は見られない。

【年代別】 「生活環境の悪化」が30歳代（87.6%）で最も高く、次いで50歳代（84.6%）、40歳代と60歳代（83.8%）となっている。

◇間接的な餌やり行為で知っているもの

問33 意図して野生鳥獣へ餌やりする行為以外にも、以下のような行為も間接的な餌やり行為（非意図的餌やり）となり得ることがあります。間接的な餌やり行為として、あなたが知っているものはありますか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

間接的な餌やり行為で知っているものは「生ごみの放置」と回答した人が81.8%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】間接的な餌やり行為で知っているものは、「生ごみの放置」が81.8%、「対策不十分なごみステーションの運用」が69.2%、「屋外飼育動物（イヌ、ネコなど）への餌の放置」が37.1%となっている。

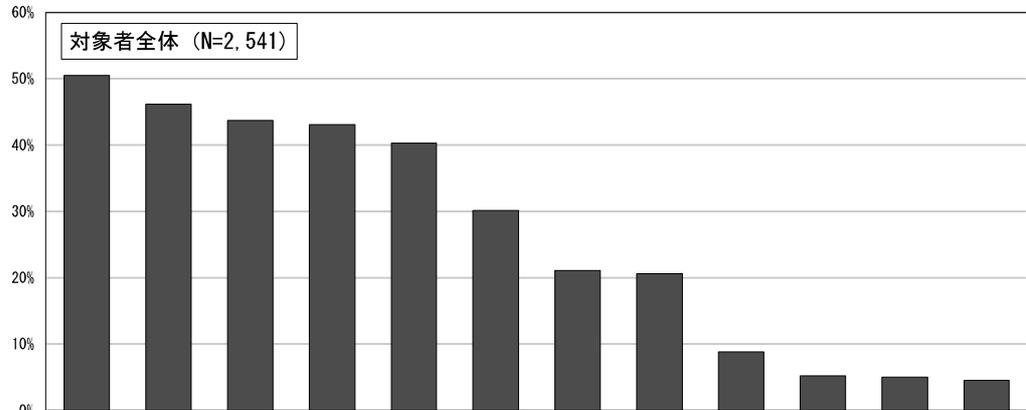
【性別】大きな差は見られない。

【年代別】「生ごみの放置」が30歳代と50歳代（85.3%）で最も高く、次いで60歳代（84.8%）、40歳代（83.0%）となっている。

◇餌やり行為を減らす啓発方法

問34 あなたが、野生鳥獣への餌やり行為を減らすための啓発方法として、有効だと思う方法はどれですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

餌やり行為を減らす啓発方法は「小中学校等での教育」と回答した人が50.5%



		対象者数	小中学校等での教育	町内会の回覧板	行政によるパトロール	地域によるパトロール	広報さつぼろ	地域の掲示板等へのポスターの掲示	SNS (市公式Twitter、LINEなど)	札幌市公式ホームページ	市職員による出前講座	その他	有効だと思う啓発方法はない	無回答
(%)														
対象者全体		2,541	50.5	46.2	43.7	43.1	40.3	30.1	21.1	20.6	8.8	5.2	5.0	4.5
性別	男性	990	51.4	44.9	46.5	42.0	40.0	29.6	21.5	21.1	8.7	5.6	4.6	3.9
	女性	1,517	50.2	47.3	42.2	44.1	40.7	30.7	21.0	20.6	8.8	4.8	5.1	4.4
	その他	6	66.7	50.0	50.0	50.0	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	-	33.3	-
年代別	29歳以下	159	56.0	28.9	44.0	45.9	24.5	27.7	34.0	15.1	7.5	8.8	8.8	0.6
	30～39歳	266	56.8	31.2	55.6	50.0	23.3	24.4	37.2	14.7	9.0	9.0	6.0	1.1
	40～49歳	382	55.0	39.3	52.1	43.7	31.2	25.7	28.3	17.0	9.4	7.9	3.4	3.1
	50～59歳	449	54.1	44.1	44.1	42.3	39.9	32.3	28.5	26.1	11.1	3.8	6.7	2.7
	60～69歳	494	50.4	49.2	44.3	45.1	47.0	34.0	17.6	26.1	9.3	3.4	5.1	4.3
	70歳以上	768	43.9	58.2	35.3	39.5	50.5	31.3	7.6	19.4	6.9	3.5	3.5	7.7

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】餌やり行為を減らす啓発方法は、「小中学校等での教育」が50.5%、「町内会の回覧板」が46.2%、「行政によるパトロール」が43.7%となっている。

【性別】大きな差は見られない。

【年代別】「町内会の回覧板」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、69歳以下では「小中学校等での教育」が、70歳以上では「町内会の回覧板」が最も高くなっている。